

学校運営協議会 議事録

校名	府立だいせん聴覚高等支援学校
校長名	林田 健祐

開催日時	令和4年 11月10日(木)
開催場所	だいせん聴覚高等支援学校 校長室
出席者(委員)	安田忠典 委員、澁谷栄作 委員、余部信也 委員、井上 洋 委員、前田 浩 委員
出席者(学校)	校長、教頭、首席2名、部主事、進路指導部主任、教務部主任 生活指導部主任、事務長
傍聴者	なし
協議資料	令和4年度 学校経営計画 他
備考	

議題等(次第順)	
1 開会挨拶【学校長】 2 本校学校経営推進費事業(いつでもVR)【GIGAスクール構想推進プロジェクト】	
3 協議 1)令和4年度 学校経営計画 進捗状況について【校長】 2)令和5年度使用教科用図書 採択について【教務部】	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
2 本校学校経営推進費事業(いつでもVR)【GIGAスクール構想推進プロジェクト】	
・取組の紹介、VR教材(心臓観察)を体験	
3 令和4年度 学校経営計画案 進捗状況について【学校長】	
1)令和4年度 学校経営計画案 進捗状況について、出席委員の全会一致で承認。	
各委員からのご意見	
・社内研修をしても、理解力の差が大きいです。文字情報システムに使われているような、大型のディスプレイによる指導が必要	
・有給取得については、一般企業でも苦労している。まして、教員の方は業務が多様なので、取得率を上げるのは、なかなか難しいように感じる。	
・障害種によっては、休暇をとると、いつものルーチンと変わってしまい、かえって調子が悪くなる人もいますので、強く言えない。	
・自立活動などの授業で、休みの取り方や、給料の額面と手取りの違いは説明していますか。その説明がわからず、支援センターから説明をしに行ったケースもありました。	
・デジタル化は進んでいますが、リテラシーや読み書きにつながらない場合がある。モチベーションは高まるが、文章力が無い。鉛筆で書くという方法も併用した方がよい。また、機械操作はうまいが、授業はうまくない先生も増えているので、発問の仕方や板書スキルなどもしっかり身につけてほしい。	
・本を読みましようと言っても、なかなか読まれないが、ビブリオバトルをすると結構盛り上がります。そうしたゲーム性を取り入れてすると、読書率も向上するかもしれない。	
2) 令和5年度使用教科用図書 採択について	
4 保護者からの意見書について【事務局】	
・意見書の提出はなし	
5 その他【事務局】	
各委員からのご意見	
・会議の時間が短い。意見が活発に出ているので、しっかり議論ができるよう時間を延ばしてほしい。	

次回の会議日程	
日時	令和4年2月9日(木)10:00~
会場	大阪府立だいせん聴覚高等支援学校 校長室